

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名： 筑後広域公園芸術文化交流施設
- 2 指定管理者名： 「ちくごJR芸術の郷」事業団
- 3 指定期間： 平成25年4月1日～平成30年3月31日
- 4 施設設置目的： 筑後地域の芸術文化団体やまちづくり団体等との連携を図りながら、地域の情報発信や発展に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（平成28年4月1日～平成29年3月31日）
  - (1) 点検方法： 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - (2) 点検結果： 別添のとおり

## 1 管理運営状況概括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性 （公益性） の確保	<p>・施設の設定経緯と目的を踏まえ、地域との連携・協同を図りながら、地域密着型の施設として文化振興に寄与する。</p> <p>・平等利用の観点から、全ての人が快適に施設を利用できる運営を行う。</p>	<p>・地元自治体やNPO法人、公園内の他団体等と連携を図りながら、「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を実施した。また、「交流事業」では、九州芸文館3周年記念イベントとして「ホークス応援フェスタ!!」を開催し、公園内だけではなく筑後船小屋駅周辺を巻き込んだ事業を展開した。</p> <p>・公の文化施設としての利便性と安全性に配慮し、来館者に対する案内表示や通路の安全確保を行うとともに、ホームページ予約システムの運用等により、全ての人が利用しやすい環境を整えている。また、駐車場満車時や催事等により混雑が予想されるときは駐車場に職員を配置し誘導・案内等を行うなど、利用者が快適に施設を利用できるよう駐車場管理を徹底した。</p>
②施設利用 及びサービ ス向上	<p>・平成25年度にオープンした新規施設であることから、あらゆるメディアを駆使し、効果的広報により、認知度アップに努める。また、JR九州グループのネットワークを活かした広報を行う。</p> <p>・施設の特性を活かした事業を展開する。</p>	<p>・ホームページや広報誌などを通じ、展覧会やイベント等の広報を行っている。九州芸文館のパンフレットを外国語表記にするなど、海外からの来館者にも配慮した広報展開を行っている。小学生対象の「こどもアカデミー講座」については、筑後市ほか周辺の市・町教育委員会を通じて、5市2町全てチラシを配布するなど、イベントに応じ臨機応変な広報に努めた。</p> <p>・JR九州の筑後船小屋駅周辺の各駅および博多駅、佐賀駅（佐賀）、荒尾駅（熊本）の12駅に、ポスターの掲示や催事のパンフレットを設置した他、九州新幹線筑後船小屋駅ホームの時刻表横に、九州芸文館とHANKSベースボールパーク筑後の告知・最寄駅表示を掲出した。また、九州一円に配付するパンフレットに、九州芸文館の広告を掲載し広報活動の強化を図った。</p> <div data-bbox="1048 775 2051 887" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施設利用者数 79,787人（対前年度△3.5%）</p> <p>施設稼働 本館 65.3%（大交流室 75.4%、教室工房1～6 平均63.7%）（対前年度△3.7%） 別館 37.7%（教室工房A 32.1%、工房B 47.3%、工房C 33.8%）（対前年度△0.8%）</p> </div> <p>・施設の設定目的に沿って、施設の特性を活かした自主事業を展開している。</p> <p>【自主事業】 事業数 : 23件（対前年度 +1件） 参加者数 : 36,467人（対前年度 +24.1%）</p> <p>○芸術文化事業 事業数 : 6件（対前年度 △2件） 参加者数 : 9,071人（対前年度 △24.2%）</p> <p>&lt;主なもの&gt; 「田島照久の全仕事展」「美人画の巨匠伊東深木画伯の愛弟子 荒野予而栄展」 「筑後アート往来」「芸文アートセレクションズ」「津留法雲作品展」</p> <p>○体験事業 事業数 : 10件（94講座）（対前年度 +3件） 参加者数 : 11,429人（対前年度 +106.2%）</p> <p>&lt;主なもの&gt; 「九州芸文館アカデミー」（7期：29講座、8期：25講座） 「こどもアカデミー講座」（夏休み/冬休み） 「教育プログラム」（近隣特別支援学校児童に対する絵付け体験講座など）</p> <p>○交流事業 事業数 : 7件（対前年度 ±0件） 参加者数 : 15,967人（対前年度 +34.3%）</p> <p>&lt;主なもの&gt; 「第2回筑後七国酒文化博」「九州芸文館3周年記念イベント ホークス応援フェスタ!!」 「船小屋今昔物語」「卑弥呼の火祭り」「筑後七国匠のアート展」</p>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズや利用状況の把握により、利便性の高い施設を目指す。</li> <li>・サービスマニュアルを改善する。</li> <li>・サービス研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内にアンケート用紙と回収箱を設置し、利用者の意見等の把握に努めている。</li> <li>・施設清掃の作業順序や時間を工夫し、貸館利用者が気持ちよく施設を利用できるよう努めた。</li> <li>・サービスマニュアルを改善し、新人及び受付スタッフに対するサービス研修を実施することで、スタッフ全員が共通認識を持ってサービスの向上に努めている。</li> </ul>
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の促進と収入確保を目指すとともに、経費の節減に努め、経営の効率化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR九州のネットワークを活用した広報等により、稼働率向上と収入確保に努めている。 利用料金収入 5,217千円（対前年度 +1.6%）</li> <li>・不必要な照明や空調等をこまめに切るなど、経費の節減に努めている。 県委託料（指定管理料） 102,987千円（対前年度 ±0%）</li> </ul>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高い信頼性」「豊かな技能」を有し、地域文化の創出に情熱的に取り組む人材を確保する。</li> <li>・指定管理者として望まれる安定した経営と財政基盤を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した事業実施やサービスの質の確保のため、専門知識・技術や現場対応経験を有する職員を配置するとともに、受付業務等で利用者を長時間待たせることなどがないう、スタッフ全員が貸館受付業務を行えるようにしている。</li> <li>・借入金はなく、健全な財務体質を維持している。</li> </ul>
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護マニュアルにより、適正な個人情報保護に努めるとともに、情報公開については、県条例を遵守する。</li> <li>・災害等の緊急時にはマニュアルに即した対応を行い、利用者の安全確保に努めるとともに、危機管理に対する職員の教育を徹底して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者で策定した個人情報の保護に関するマニュアルに基づき、職員全員に対する研修の実施により適切な対応に努めている。</li> <li>・指定管理者独自の防災訓練を実施した。（レストランスタッフ・警備員を含む。）</li> <li>・危機管理マニュアルを作成し、事務室及び受付に配置している。</li> </ul>

## 2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の設置目的を踏まえ、美術展鑑賞の機会の提供や、地域と連携した各種ものづくり体験講座の実施など、施設の特性を活かした多彩な文化事業を実施している。</li> <li>・施設全体の入館者数は27年度と比較し減少しているものの、体験及び交流事業に関しては参加者数が増加しており、魅力的な事業の実施と広報による効果が出ている。</li> <li>・JR九州のネットワークを活用した広報などで利用促進に取り組んでおり、JR九州新幹線・在来線での効果的な広報の実施により、認知度アップに努めている。地域に根付いた施設として定着し、より活発な利用がなされるよう、引き続き今後の取り組みに期待したい。</li> </ul> <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの運営が行われている。</p>
---	--